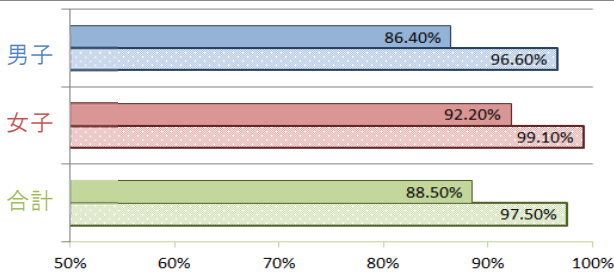




## <2012年度・商学部> 在籍者数 (5月1日現在)

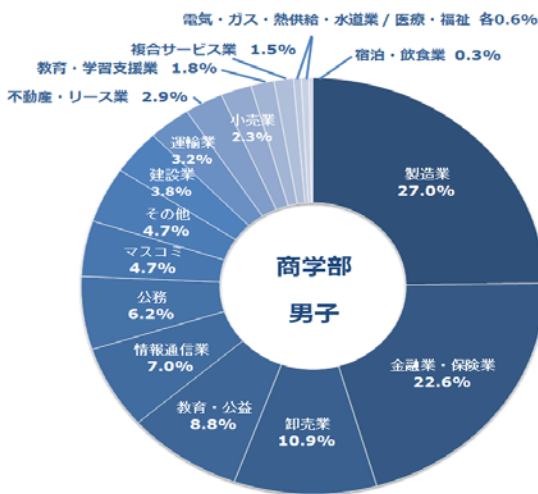
	1年生	2年生	3年生	4年生	
男子	366	403	412	543	
女子	289	270	241	240	
合計	655	673	653	783	単位(人)

## <2012年3月卒業・商学部生> 進路決定状況



上段 就職率：就職決定者数(自営含) / (卒業生-進路決定者数)  
下段 就職決定率：就職決定者数 / 就職希望者数

## <2012年3月卒業・商学部生> 就職状況



平松一夫教授に兵庫県知事が感謝状贈呈

兵庫県は5月16日、平松教授に、井戸敏三兵庫県知事からの感謝状を贈呈しました。

本感謝状は平松教授が行財政構造改革審議会長として兵庫県の行財政構造改革の推進に大きな貢献をした功績に対して送られました。

## 商学部主催

### 学術講演会・開催報告



2012年6月11日(月) 4限

#### 演題

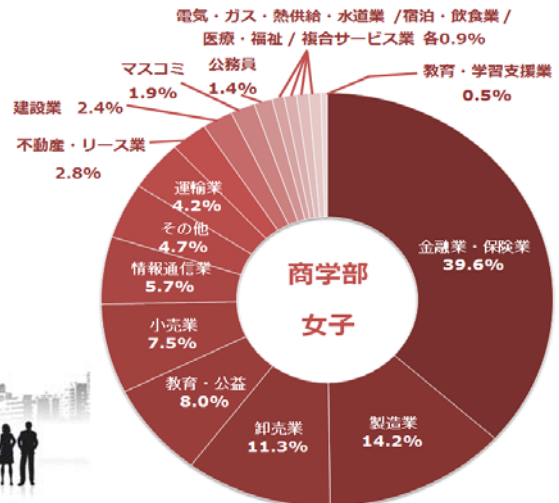
### 商社のアジア戦略

—伊藤忠商事における  
香港を中心とした繊維展開—

#### 講師

清水 源也(しみず もとなり)氏

伊藤忠卓越繊維(亜州)有限公司、董事長



入社数上位企業名 三菱東京UFJ銀行・三井住友銀行・野村証券・みなと銀行・日本生命・住友生命

## 私が薦めるこの一冊

岡村 秀夫教授

『日本の経済格差—所得と資産から考える—』  
橋本俊昭(著) / 岩波書店・岩波新書(1998年)  
ISBN4-00-430590-X C0233

「一億総中流」という日本社会の常識に大きな疑問を投げかけ、社会問題を論じる際のキーワードとして「格差」を定着させる端緒となった一冊です。所得格差の主要

因は高齢化進展や単身世帯数増加であることがその後明らかになりましたが、家族構造の変化が社会保障政策・所得再分配政策の見直しを迫っているとも言えます。著者には教育・雇用・社会保障分野で数多くの本があります。本書以外で「やわらかい」本から始めたいという人には『日本のお金持ち研究』(日本経済新聞社、2005年)をお薦めします。



## 2012 年度商学部奨励奨学金の受給者決定



商学部奨励奨学金（笹森奨学金）受給者6名が5月9日の教授会で決定され、6月20日昼に商学部会議室

にて授与式が行われました。例年どおり、同奨学金基金  
 拠出者の故笹森四郎名誉教授（元商学部教授）のご  
 ご令室である笹森一枝氏をお招き致しました。緊張  
 した面持ちで式に臨んだ6名の奨学生も、笹森氏より暖かい  
 励ましのお言葉を受け、式後には氏を  
 囲んで歓談の場を持ちました。

## 教員の著書・出版のご案内

藤沢 武史教授 編著

『グローバル・マーケティング・  
 イノベーション』

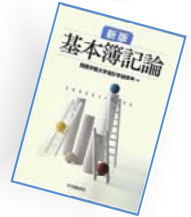
◇同文館出版  
 ◇2012年4月発行  
 ◇定価 ¥2,940



関西学院大学会計学研究室 編

『新版 基本簿記論』

◇中央経済社  
 ◇2012年4月発行  
 ◇定価 ¥2,940



## 高等学部商科開設 100 周年記念講演会



文部科学大臣・平野博文氏

演題：「グローバル人材の育成

に向けて大学に期待すること」

日時：6月30日（土）13:30～15:30

2012 年は、商学部のルーツである、高等学部商科開設  
 100 周年にあたります。この節目の年、商学部では様々な記念  
 行事が予定されています。そして記念学術講演会もこれからど  
 んどん開催しますので、お誘い合わせの上、お越しください。



## ＜第 53 回みずほ学術振興財団懸賞論文入選＞



（財）みずほ学術振興財団は毎年、35歳以下  
 の若手研究者や社会人、学生を対象として懸賞  
 論文を募集しています。53回目となる昨年度「経  
 済の部」で、寺地ゼミの3名の学生が入賞を果たし  
 ました。（学年は応募当時のものです。）



論題：「日本国債の安定消費について」

3等 種子 宗矩さん（商3）

佳作 守山 玲未さん（商4） 高田 有紀子さん（商4）

## 教員紹介



### 浜田 和樹 教授

今年4月に5年間所属していた経営戦略研  
 究科から異動して、商学部でお世話になるこ  
 とになりました。私も関学の卒業生です。緑  
 多い静かな環境の中で教育と研究ができ、嬉  
 しく思っています。経営戦略研究科に所属していた時も、商学部  
 で「管理会計」を担当していましたので、商学部本館に行くこと  
 がよくありました。本館には私が学生時代に講義を受けたままの  
 教室が残っており、とても懐かしく感じていました。

管理会計は、組織体の内部利害関係者に対し、計画と統制に有  
 用な会計情報の提供を目的としています。近年では環境の複雑化  
 に伴い、解決すべき管理会計テーマも多様になっています。管理  
 会計の有用性を伝え、興味を持ってもらえる講義ができたと思  
 っています。



### 阿萬 弘行 教授

金融論担当教員として着任しました。学  
 生さんにとっておそらく難しい印象のあ  
 る「金融」を、日常報道されているニュー  
 スや事例を取り上げながら、なるべく身近  
 に感じてもらえるよう講義することに努めています。講義の  
 中身について自分で考えてもらうようコメントを募っている  
 中で、商学部の学生さんは、予想外に、ビジネスとしての視  
 点で銀行制度や金融業務への独自の面白い評価を寄せる人が  
 多く、感心します。また、かなり率直な心情を書く学生さん  
 もいて、改めて、金融市場や金融サービスが、そういう素直  
 な顧客を相手にした理屈では割り切れない世界だということ  
 を日々実感しています。

